

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東郷町役場	代表者名	木本 清彦
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0561-56-0717
担当者役職		担当者氏名	
住所	470-0198 愛知県東郷町大字春木字羽根穴1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	前回のオープンデータ推進会議研修会を踏まえて、次のステップとなる企画、令和2年1月に実施する講義について具体的な内容、目的など確認し打合せを行えたところが良かった。
アドバイザーへの要望事項	画像をオープンデータ化するにあたり、注意すべき点(肖像権など)や具体的方法についての説明を講義内で行ってもらおうよう依頼。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月6日	10時00分	11時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	東郷町役場		最寄駅	赤池駅
	所在地	愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地			
	最寄駅からの交通手段	名鉄バス 豊田市駅行きに乗車。「和合」バス停にて下車。徒歩1分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータの推進に向けて研修会も回を重ねてきており、新たな情報の公開をしたいが著作権、肖像権といった権利に関する注意すべき点など、担当職員として知識の習得が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	行政職員として必要な、オープンデータに関する知識とデータ活用における注意点について学び、データのオープン化を広めていくこと。(今回は各市町が所有する画像による情報の公開を目標とする)	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータ推進会議研修会の実施に向け、打合せを行った。研修実施のスケジュールや内容を決定し、具体的な画像のオープンデータ化に向けたノウハウやアドバイス、画像を管理する担当職員に説明、注意する点などといった講義について支援を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータ推進会議研修会の具体的な実施スケジュールや実施要領を策定できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた 令和2年1月24日に研修会を実施予定とし、具体的な講義内容や次第が完成した。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	研修会当日、画像を管理する広報・観光担当職員の意見も交え、その都度問題点や改善すべき点を検討して解決していきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、オープンデータ推進会議研修会の実施に向けた打合せなのでアンケートは実施しませんでした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	自治体が所有する情報を、なるべくオープンデータとして順次公開していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

